

**バムルンラード病院は、眼科センターを強化するため、最も複雑な角膜疾患に対する  
包括的なサービスを提供するタイ私立病院で初めて角膜移植センターを開設**

世界保健機関によると、世界で 22 億人が近視、遠視、または乱視や白内障などの状態にあります。調査では、タイにおいて、失明は 92%が予防可能で、76.8%が治療可能であることが明らかになりました。さらに、失明の原因のトップ 3 は、1) 白内障 2) 緑内障 3) 角膜疾患です。このような視力障害は、50 歳以上の高齢者に多くみられます。しかし、時代とともに若年層にも見られるようになってきています。

**バムルンラード病 CEO Artirat Charukitpipat**

バムルンラード病院は設立以来 42 年、最高の医療を提供するために常に医療水準を高め、患者さん一人ひとりに総合医療を提供するために Center of Excellence を強化してきました。眼科センターもその一つで、眼科専門医とスペシャリストのチームによる総合的なケアを提供する体制を整えており、最新の技術革新により高度な診断と治療をご提供しています。バムルンラード病院眼科センターは、エクセレンスセンターとして、これらすべての技術を駆使して、最も困難で複雑な眼科疾患を治療する能力を備えています。バムルンラード病院角膜移植センターは、この延長線上に設立されました。バムルンラード病院が、タイ国内の私立病院で初めて角膜移植センターを設立できることを誇りに思っています。

**バムルンラード病院眼科センター長 Dr. Maytinee Sirimaharaj**

目は重要な器官であり、多くの組織で構成されているため、患者さんにとっては様々な専門医にアクセス可能なことが重要です。バムルンラード病院眼科センターでは、白内障、緑内障、眼科形成手術、網膜疾患、ブドウ膜炎、角膜疾患、小児眼科、斜視、視神経疾患、ReLEx SMILE による屈折矯正手術の治療において、さまざまな専門性を持つ眼科医のチームが患者さんの治療をお手伝いしています。バムルンラード病院は体だけでなく、心の治療も

ご提供し、総合的な医療を実現しています。総合的チームは、眼科医、内科医、麻酔科医、精神科医と緊密に連携し、患者さんに最高品質で安全な医療をお届けしています。バムルンロード病院眼科センターは、より多くの患者さんを受け入れるために拡張され、現在では最新の診断・治療設備を備えた13の治療室があり、最も複雑で難しい症例の治療にも対応しています。

角膜移植センターは、角膜炎、角膜浮腫、円錐角膜、遺伝性角膜変性症、角膜潰瘍、角膜移植など、あらゆる種類の角膜疾患を治療しています。不適切なタイミングで治療を行うと、患者さんの予後に悪影響を及ぼすだけでなく、視力も危険にさらされるため、目の治療にはタイミングが重要な要素となります。

### バムルンロード病院角膜専門医 Dr. Teeravee Hongyok

角膜は目の前面にある透明な窓であると話しています。角膜は全部で5つの層からできています。角膜の主な役割は、一番内側の網膜層で光を屈折させ、近くも遠くもはっきりと見ることができるようです。そのため、目がかすむ、光に敏感、視力が頻繁に変化する、乱視がひどい、まぶしい、光輪、コンタクトレンズ装着時の刺激、角膜の潰瘍、閉塞感などがある場合は、角膜疾患の発症を示唆している可能性があり、迅速な検査、診断、治療を必要とします。眼科医は、徹底した眼科検査を行い、角膜トポグラファーなどの医療機器を使用して、角膜の実際の形状や曲率を評価します。

角膜が濁ったり、腫れたり、歪んだりする原因はさまざまです。海外でよく見られる角膜の病気は、角膜内層の遺伝的な変性と円錐角膜です。角膜の変性については、角膜の内層は角膜の透明性を保つために不可欠なものです。これが変性すると、角膜が腫れたり、厚くなったり、曇ったりします。円錐角膜は、通常、未治療のアレルギーと関係があります。多くの場合、アレルギーを持っている患者さんの角膜は弱く、もろく、ゆがんでいます。タイでは、不健康な労働環境、コンタクトレンズ、バイクに乗るときにヘルメットや目の保護具をつけないことで、角膜が感染して曇ることが多いようです。また、目の手術の後にもよく見られるケースです。また、遺伝性の角膜変性症や先天性の角膜変性症もよく見られます。いずれも潰瘍、角膜擦過傷、角膜の腫れ、角膜の歪みなどを引き起こします。視力を失うこともあります。角膜移植によって角膜を透明にし、再び見えるようにする治療が可能です。

バムルンラード病院角膜専門医・タイ角膜屈折矯正手術学会会長

**Assoc. Prof. Dr. Ngamjit Kasetsuwan**

角膜移植は患者の損傷した角膜を取り除き、ドナー角膜と交換する手術方法です。角膜移植の利点は、患者の視力、角膜の強度、角膜が薄い場合や穴が開いている場合の改善、重度の角膜感染症患者の二次感染防止にあります。バムルンラード病院では、顕微鏡一体型の術中光干渉断層計を用いた手術を行っており、手術技術の向上と治療成績の向上を図っています。角膜移植の主な方法は2つです。

- 1.) 角膜移植術（または PKP/PK）は、損傷または病気の角膜をドナー角膜で全層完全に移植する方法
- 2.) ラメラ角膜移植術は、患者の角膜の健康な部分を保存し、病気または機能不全の角膜層のみを除去し、交換する方法

2.1 前方角膜形成術は、角膜の前方部分のみを置き換えるものです。前方角膜移植術の利点は、角膜の最も内側の層の保存、ドナー角膜の拒絶反応の減少、また合併症が抑えられることです。

2.2 内皮角膜移植術は、角膜の内層を切除して入れ替える手術です。切開創は3~5ミリ程度に抑えられ、合併症や回復期間も数週間程度と、浸透角膜移植術に比べ大幅に短縮されます。

バムルンラード病院角膜移植センターは、角膜専門家と高い技術で、他の複雑な角膜疾患に対しても最高の治療を提供しています。例えば、エキシマレーザー光線治療角膜切除術（PTK）、角膜のコラーゲン線維を強化する角膜コラーゲンクロスリンク、角膜の曲率を矯正して視力を改善する角膜内リングセグメント挿入などの治療を行っています。

タイ赤十字アイバンクの報告によると、タイでは目のドナーは2%程度であるため、角膜移植を必要とする患者は通常3年から5年待たなければなりません。毎年、1,000人以上が角膜提供の待機リストに加わっており、この数は増加の一途をたどっています。一方、角膜移植を待っている人の数は約17,000人で、毎年角膜の提供を受ける人はおおよそ600~700人にすぎません。待機期間が長いと、症状や予後、視力結果を大きく悪化させる可能性があります。例えば、角膜が濁った糖尿病の患者さんは、時間が経つと網膜症を発症し、適切な治療ができなくなる可能性があります。

バムルンラード病院角膜移植センターは、患者さんがより早く、より便利な方法で角膜移植を待つことができるもう一つの場所であり、公的医療制度に対するストレスを軽減することができます。したがって、角膜移植の患者さんが適切な時期に適切な治療を受けることができ、視力と生活の質の両方を回復することができるよう尽力しています。

バムルンラード病院では、30年以上にわたり、腎臓移植、肝臓移植、心臓移植などの臓器移植を成功させているので、様々な複雑な移植手術を行う専門能力を有しています。現在、当院の角膜移植手術は、病気の診断や重症度にもよりますが、70%~95%の成功率を誇っています。角膜移植手術はバムルンラードで行われる臓器移植手術の中で最も成功している手術の一つで、高い成功率を誇っています。角膜移植の成功に影響を与える最も重要な要因は、患者の眼球組織とドナー組織の接続の細かさ、患者の角膜切除とドナーおよび患者の眼球組織の整形を行うための技術です。角膜移植を成功させるためには、経験豊富で熟練した眼科医が必要です。45歳以上の方、眼科疾患をお持ちの方は、年に一度の眼科検診をお勧めします。

詳細については、バムルンラード病院 A 棟 18 階角膜移植センター（クリニック）、または +6620113886 ないし 1378 にお問い合わせください。